

平成24年度第3回花巻市立図書館協議会 会議録

1 期 日 平成25年2月28日(木) 午前10時00分～午前11時42分

2 場 所 花巻市立花巻図書館 会議室

3 出席者

(1) 協議会委員

照井 孝司委員、菊池 敏宏委員、市川 浜委員、門馬 優子委員、佐々木 さつき委員、
日下 明久美委員、坂本 知彌委員、晴山 美紀子委員、折居 健委員、白藤 祐三委員、
阿部 善郎委員(計11名)

(2) 事務局

花巻図書館長 久保田 泰輝、石鳥谷図書館長 小原 茂隆、東和図書館長 多田 章、
花巻図書館副館長 伊藤 健一、花巻図書館業務係長 吉田 郁子、石鳥谷図書館上席
主任 菊池 桂、東和図書館副主任主査 菅野 和

4 欠席委員 藤原 くに子委員(1名)

5 傍聴者 なし

6 会議の概要

(1) 開会 (伊藤花巻図書館副館長)

ただ今から平成24年度第3回花巻市立図書館協議会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

(2) 会長あいさつ (坂本知彌会長)

みなさんおはようございます。今日はちょっと春めいた天気だなあと思っているんですけども、図書館の前がスケート場みたいでこわいなと思いつつ歩いてきました。でもそんなところ昨日の新聞なんですけれども、みなさんすでにご存じかと思えますけれども、うれしいニュースが載っておりました。市の方では、当初予算に図書館の基本設計費として、39,300千円を盛り込んでくださったということです。そしてその基本となるものが決まったんじゃないかと、中ホールがついていて、そしてコンサートホールなどにも活用でき、先人記念館的なものも盛り込むというふうな感じで、どんな図書館ができるのかなとワクワクしているところです。これから一層皆様のご協力を得なければならないと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(伊藤花巻図書館副館長)

ただ今会長からお話がありました図書館整備につきましては、議事のその他のところでご説明したいと存じますのでよろしくお願いいたします。

議事に入る前に、本日の欠席委員及び会議成立について報告いたします。本日の欠席委員は藤原くに子委員1名で、出席委員は11名で構成委員の過半数を超えておりますので、花巻市立図書館協議会規則第7条の規定によりまして、本会議が成立することを報告します。

(3) 議事 (協議会規則第6条により坂本会長が議長となる。)

1 報告

平成24年度花巻市立図書館の事業実施状況について

・久保田花巻図書館長から、平成24年度事業実施状況の総括的なことについて説明

第3回の図書館協議会ということでお集まりいただきありがとうございます。今日の案件としては大きく2つございますし、その他では図書館整備についてご説明いたします。第2回の協議会の際に、24年度上半期の事業実施状況について報告いたしておりますが、24年度事業については、ほぼ予定通り事業を実施いたしております。詳細については各図書館からご報告いたします。

- ・花巻図書館の事業実施状況について、花巻図書館吉田業務係長から資料により説明
資料 P2 こども読書くらぶ活動報告会 2 月 17 日の参加人数を 22 名から 34 名に訂正
ブックスタート関係では、今年度から取り組んだブックスタートプラスにより、配布率
が 10%ほど上がった旨説明
- ・大迫図書館の事業実施状況について、花巻図書館伊藤副館長から資料により説明
- ・石鳥谷図書館の事業実施状況について、石鳥谷図書館小原館長から資料により説明
特に冬休み子ども映画会では、映画での実験を実際に子どもたちで工作実験を行った旨
説明
- ・東和図書館の事業実施状況について、東和図書館多田館長から資料により説明
追加事業として、12 月 24 日の実行委員会主催事業のクリスマスこどもまつり in 図書館
を今年度初めて実施し、入場は 200 人以上あった旨追加報告
- ・参考資料として、P6～P8 まで読み聞かせ、ブックスタート、ブックスタートプラス等につ
いて、各図書館ごと、各月ごとの状況について添付している旨報告

【質 疑】

- (折居委員) ブックスタートの配布率の目標・計画は立てているのか。
- (伊藤副館長) 事務事業評価、主要事業の対象となっているもので、配布率の目標を 85%とし
ている。
- (坂本委員) 目標を達成してますね。
- (伊藤副館長) 配布率を上げることが最終目的ではないが、事務事業評価の一応の目安として
いるもので、配布率向上の対策として今年度からブックスタートプラスを実施しているもの
で、最終的に今年度の配布率は上がる見込みである。
- (門馬委員) 9 月 1 日の防災の日のお話会ですが、こども読書くらぶの記事を読まれてお話会
をしたということですが、小松さんはどういう方か。
- (吉田係長) 矢巾南小学校の先生です。
- (門馬委員) 震災を題材にしたということですがけれど、被災地でなくても行ったのか。
- (吉田係長) 実家が大船渡出身の方で、津波石のはなしや三陸鉄道の奇跡の列車などを読み聞
かせた。また、その内容について先生が作成したチラシを読み上げて紹介した。
- (門馬委員) 11 人と参加者が少なくて大変残念だ。
- (坂本委員) 学童クラブにもお話会の参加呼びかけがあった。うちの学童クラブには被災児童
がいて、実際お母さんをなくしている。学童でそのお話会に行くかどうか迷ったが、大船渡
の保護者の方とお話をする機会があつて、その方は被災地にはいろんな方がボランティアの
方がきているが、被災した子どもたちも次に向けて進みたいけれどもなかなか進めないで
いる。忘れてはいけないことだが心に絡みついて被災した方々はつらい思いをしているので、
被災地にはいかない方がいいといわれた。学童クラブにいる被災児童のことを考えて、その
お話会には参加しなかったので人数が少なかったと思う。
- (阿部委員) 事業実施の報告を聞いて、これまでよりも活動が高まっているように感じた。た
だ、今までの活動を振りかえって、来年度に向けて事業活動を改善したいとか問題とかは何
かあるか。
- (久保田館長) 目に見える形での数字、評価という観点でいうと、読み聞かせについての参加
人数が伸びないのが実情です。背景には子どもの人数が減っていることは当然あります。利
用者なり図書館を恒常的に利用している方はあまり伸びていない、図書館を利用したいと思
っても、図書館から離れている子どもたちは、自力で来るのは難しい、親御さんがついてく
るとかでないとなかなか難しい。そういうなかでその子どもたちにいかに図書館で本を読む
ことの大切さを図書館として知らしめるか、わかっていたかという部分は大きな課題だと思
っている。簡単には解決できないとは思いますが、その辺は図書館職員として常に念頭に置い
たうえで、少しずつ何らかの改善する方法を考えていかなければならない。簡単にはいかな

いが、そういう点が課題だと思っている。

2 諮問

平成 25 年度花巻市立図書館の事業計画（案）及び予算（案）について

- ・最初に、久保田花巻図書館長から、平成 25 年度事業計画（案）及び予算（案）の総括的なことについて、別紙資料により説明
- ・花巻図書館の事業計画（案）について、花巻図書館吉田係長から資料により説明
新たなところでは子ども映画会を来年度から第 4 土曜日も開催する。またボランティア育成講座を開催する旨説明
- ・大迫図書館の事業計画（案）について、花巻図書館伊藤副館長から資料により説明
- ・石鳥谷図書館の事業計画（案）について、石鳥谷図書館小原館長から資料により説明
- ・東和図書館の事業計画（案）について、東和図書館多田館長から資料により説明
新しい企画として、防災広報手段を知るという事業名で、専門家の指導により日頃の防災手段の備えとすることをを行う予定
- ・追加説明として、夏休み・冬休み子ども映画会の開催について、映画の賃貸料が一日で 10 万円ほどすることから、これまでは花巻図書館のみとか、24 年度は石鳥谷図書館でも開催したが、来年度は 4 図書館で、一日の時間を調整しながら開催したいと思っている。
- ・花巻市こども読書クラブの平成 25 年度事業計画（案）について、東和図書館菅野副主任主査から別添資料 P14 により説明

（坂本議長） 予算（案）の説明の前に、一旦ここで質疑を行いたいと思います。

【質 疑】

- （坂本委員） 花巻図書館の夏休みおたすけ講座は、8 月下旬では夏休みが終わっているのではないか。
- （吉田係長） 8 月を 7 月に訂正願います。
- （佐々木委員） こども読書クラブについて、今年度いろいろ工夫していただいて、子どもたちも楽しんで参加させていただいた。準備など何かと大変だったと思うが、今年度は単発、今回だけという参加も OK だったが、来年度のこの計画を見る限りでは最初に人が決まってしまうのではないか、途中から入りたいといっても参加はできるのか。
- （菅野副主任主査） もちろん単発でもよい。見学だけでも良い。このようにしたのは、各図書館に出かけるのが難しい、それと年齢幅が非常に大きいことから、個別にどんなことを希望し学習していくかを図書館でどんなことをお手伝いできるのかということで、インタビューしながら活動計画を一緒に作っていったらいいのかなということで、この計画をたてたものです。個別・単発の参加 OK ですので引き続き参加をお願いしたい。
- （伊藤副館長） このこども読書クラブの計画については、昨年 11 月の第 2 回の協議会の際に 25 年度の計画案を説明しているが、各委員さんの意見等を参考に、各図書館を回らなければならないような活動では、なかなか他の地域の子どもたちが参加がむずかしい面があったので、それぞれの図書館で活動できるような計画としたものです。
- （坂本委員） 個人のテーマというのと低学年では難しいかなと思うが、インタビューしてフォローしてくれるということ、参加募集の要項にはそこのところをわかりやすく書いて参加者を募集してもらいたい。これだと高学年向けかなと思うので、低学年にも事細かに一緒にやってくんだよということであれば参加者も安心できるのではないか。
- （佐々木委員） こども読書クラブ以外にも各図書館で魅力的な講座とか行事があるが、その周知にぜひ地域の子供会も含めて周知してもらいたい。けっこう子供会でも行くところが決まってしまうっていて、地区長さんも苦労している。せっかくこのようなすてきな企画があるのであれば、石鳥谷の映画会やこども読書クラブの工場見学など、夏休みにぜひどうぞという周知もいいのではないか。花巻市博物館で、勾玉づくりなどを子供会に働きかけたら

格段に参加者が増えたので、新しく人を開拓するのもいいのではないかと思う。参考になれば。

(菅野副主任主査) いい提言をありがとうございます。

(坂本委員) せっかくな企画があっても人が来なかったらもったいないです。

(照井委員) 一つ目は、夏休み図書館おたすけ講座の8月下旬について、私はいいほうに解釈したのです。というのは、工作だとか自由研究とかがもう手遅れになって、親もたすけないような子どもを対象にするのかなと思った。今年度の参加者が11人と少ないので期日を変えたのかなと思った。学校でも自由研究とか工作の計画を立てさせるんですが、まんべんなく募集するというのではなく、複数の学校二、三校にでも出前して紹介するなどして、図書館にすればいろいろ参考になる本があるよというようにしてもらえればいいかなと思う。7月上旬であれば、学校先生方も助かる。ご一考願いたい。二つ目ですが、生涯学習にかかわって図書館が存続するのかなというお話ですが、中高生はどうしても部活動や勉学のほうに時間を取られて読書するという時間が少ない年代だと思います。図書館のおかげで学校図書館協議会が今年度の研修会にお願いした桜川ちはやさんですが、非常にわかりやすくしかも面白かった。古典に対する興味がわいてくるようなお話だった。本の紹介もあって、先生方もこのようなやり方をまねして紹介すれば興味を持ってくれる、本を手に取りたくなるようになる。図書館へ生徒が出向くのは無理なので、いい講師さんを出前図書館のような形で学校へ出向いてくれると、子どもたちみんなが聞けるし、本を読む、興味を持ってくれるのではないか。こういう魅力ある本が図書館にあるよという紹介を中学校や高校でやってくればありがたい。三つ目ですが、こども読書くらぶですが、ターゲットはいつたいどの学年にあるのかなと、たとえば小学生であれば何か目新しいものとか、食べ物とか興味関心があるものが最初にあると、それに向けて調べていくなど、動機づけがないとなかなか難しいかなと感ずる。たとえば花巻傘を持ってきて、この傘はどれぐらいの竹を使うのかなどのクイズなどでいろいろ紐解きながらやっていくなど、動機づけがないとなかなか難しいのではないかな。

(坂本委員) 待っていないで出向くですね。やはり現場の先生ならではの視点でのご指摘ですね。

(白藤委員) 要望がある。ブックスタートフォローアップ、講演会などを市の広報には載っているが、主だったものを図書館協議会委員にも案内してほしい。東和図書館での街の匠などとてもよかった。このような各図書館独自のイベントについても周知してほしい。また、ハード面ですが、花巻は別として、他の3館は施設の面で今どんな課題があるのか。新年度でどんな取り組みをするのか運営面も含めて教えていただきたい。

(久保田館長) ご要望については、いままで情報提供が不足していた点があったかと思うので改善していく。施設の課題については、平成25年度の方針として、花巻図書館以外の3館についても経年劣化がすこしずつ出ているという話はさせていいただ。具体的にどこがどうだということではなく、平成25年度に具体的な修繕計画を立てて予算計上しているわけではなく、通年ベースでの維持補修費で賄おうとしているものである。ただ、平成25年度中にはある程度想定される修繕・維持補修計画、おそらく数百万単位になる可能性もある。そういう部分について明確に修繕計画を立てていく。10年15年経つと修繕しなければならないところが出てくる。平成25年度中に具体的に修繕計画を立てていくというものである。

(晴山委員) 移動図書館車の利用の実情はどうか。

(伊藤花巻図書館副館長) 花巻では利用は横ばい状態である。ただ、新しくなった市営住宅などでは新規の利用者がある。貸出等はほぼ固定している。

(小原石鳥谷図書館長) 38か所を遠隔の地ということで巡回している。小中学校はもちろん、公民館や農協などを人が集まるところを巡回している。使用者の少ないところは年度で新規に開拓しながら運行している。高齢者の常連の方の利用が多い。石鳥谷は独自の特殊性とい

- うかサービスで特に年配の方のために立ち寄りの箇所を設けて貸出しも行っている。
- (坂本委員) それはいいんじゃないですか。バスじゃないんだから。
- (小原石鳥谷図書館長) 団体貸出は50冊・1か月を単位に、企業や介護施設、保育園等を回って貸出している。今年も来年度に向けて利用希望調査を行った。利用のいろいろなニーズに答えられるようにしている。
- (多田東和図書館長) 平成23年度に車を更新して月2回巡回している。貸出人数は毎月30人から40人、貸出冊数は80~100冊となっている。また、学校文庫を東和小学校へ各学年毎に毎月貸出している。リクエストにも応じている。
- (坂本委員) 移動図書館車は比較的新しい本があるのでわくわくする。図書館では古い本もあり新しい本もありで、選書するのに迷ってしまう。図書館車は狭い空間にたくさんあるのですごいわくわくする。皆さんは図書館車を利用したことがありますか、面白いですよ。
- (市川委員) 郷土資料の整備内容は。これまでも鋭意整備してきていると思うが、どういう資料が不足しているのか。
- (吉田業務係長) 今年度は郷土資料の整備ということで取り組んでいるが、郷土資料は44,300冊あり、花巻図書館は25,000冊所蔵している。書誌統合作業中で、ラベル、コート、データなど確認統一している。4館での所蔵分担や県・国への寄贈整理も行う。
- (久保田館長) 補足して説明するが、地域資料、郷土資料は市立図書館としてはもう命と思っている。一般図書と違って、花巻ならではの地域にかかわる資料ということで、最近は、各地域で自分たちのふるさつを見直しており、いろいろ調べに来られる方もいらっしゃる。そういう資料を図書館としては地域の方々の協力を得て収集整理して、後世につなげていくのが使命であると感じている。県立や国会図書館にはない、花巻ならではの地域の資料を、地元の方々にご協力をいただいてぜひ収集させていただきたい。佐々木委員さんが作成されている紙芝居なども貴重な資料なので、ぜひ図書館に寄贈いただければありがたい。
- (市川委員) ほんとに大事なことだと思う。民家の改築等で、古い家の貴重な本が捨てられている。後から聞いてもったいないと思ったりする。そういうことがないようにつとめてほしい。
- (折居委員) 図書館がどのようになっているかということ、図書館要覧をみると一つの指数として、一人あたりの貸出冊数の各市町の比較を見ると冊数の伸びだけでなく、特徴のある本をそろえとか、花火を上げるような感じで、地域館の特徴を出してほしい。
- (久保田館長) 折居委員の今のお話については、次のその他の図書館整備についてのところでお話させていただきたいなと思っておりましたが、ある程度目標を定めたいうえでの施設の規模を想定しておりますので、その辺は意識して鋭意努力していきたい。

- ・平成25年度花巻市立図書館当初予算(案)について、花巻図書館伊藤副館長から別紙資料により説明

【質 疑】 特になし

- (坂本議長) この諮問について、特に意見がないようですので、原案のとおり答申することとしてよろしいですか。
- ・委員から異議無い旨の発言有り
- (坂本議長) それでは、原案のとおり答申することに決定します。

3 その他

- ・別添資料により、久保田館長から(仮称)花巻中央図書館整備について説明

【質 疑】

- (折居委員) 新しい図書館は平成27年度に建設するのか。
- (久保田館長) 図書館長としてはそうしたいと思うが。基本計画・基本設計の形が見えると、次に進むということになるので、25年度はきちっと固める年度になる。そのあと何の支障も

なければ実施設計、そして建築に着手なる。早くで出来ればと思う。

(阿部委員) 設計計画・建設計画ですが、やはり図書館の状況は図書館でないとわからないと思う。本庁にはどのような形なのかを持って行っているのか。

(久保田館長) 現在は図書館サイドで試算している状況。それが、市全体の中でさらにいろいろな調整はあると思うが、素案の段階では、図書館の意向が十分に働いていると認識している。

(坂本議長) ほかに何も無いようですので、以上で議事を終了します。

(伊藤副館長) 先ほど館長から申し上げたとおり、図書館建設に係る基本計画なりが固まった時点で、図書館協議会に、諮問という形で協議をお願いすることとなるので、その際はよろしくお願ひしたい。

- (4) その他
・特になし

- (5) 閉会 (伊藤花巻図書館副館長)